

May I Start? 計良宏文の越境するヘアメイク

とき・7/6(土)~9/1(日)

ところ・2階展示室

内容・今注目のヘアメイクアップアーティスト・計良宏文(けら・ひろふみ)の仕事を通して、ヘアメイクの現在と可能性を新たな視点からとらえる展覧会です。計良は宣伝広告や雑誌のヘアメイクを数多く手がけ、パリコレクションをはじめ国内外のファッションショーでヘアチーフを務めるなど、ファッション&ビューティーの最前線で活躍してきました。一方で、近年は現代美術など他領域のアーティストと積極的に協働し、ヘアメイクの概念を刷新する活動を展開しています。

展示では、広く知られる宣伝広告などの仕事から、従来のヘアメイクの枠を超える挑戦的な仕事まで、計良のクリエイションの全貌を紹介します。計良がヘアメイクを担当した森村泰昌の作品や、かしら(頭部)を制作した文楽人形など、これまでのコラボレーションの成果を紹介するとともに、ファッションデザイナー・坂部三樹郎との共同による大規模な新作映像インスタレーションも発表します。

観覧料・1100円(880円)、大高生880円(710円)

※()内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。

来場者特典

会期中の毎日、1階受付で本展観覧券をご購入の方先着30名様にオリジナルクリアファイルを差し上げます。

《関連イベント》

○トークライブ

とき・8/18(日)14:30~16:00(開場14:00)

ところ・2階講堂

登壇者・計良宏文×坂部三樹郎(MIKIO SAKABE デザイナー)

定員・80名(当日先着順) / 費用・無料

○ヘアメイクライブ【2回開催/整理券制】

とき・8/6(火)①11:00~11:30 / ②15:00~15:30

ところ・2階企画展示室

定員・50名(各回とも開始時刻の1時間前から1階受付で整理券を配布いたします。) / 費用・企画展観覧料が必要です。

内容・展示室内に設置したステージで、計良宏文がヘアメイクの実演を行います。

○ギャラリーツアー

とき・8/3(土)15:00~16:00

ところ・2階企画展示室

費用・企画展観覧料が必要です。

内容・計良宏文と担当学芸員によるギャラリートークです。

DECODE/出来事と記録

ーポスト工業化社会の美術

とき・9/14(土)~11/4(月・振休)

ところ・2階展示室

内容・1960年代末から70年代にかけての美術状況を、記録写真や資料との関係から検証します。近年国際的に評価が高まっている「もの派」と呼ばれる動向の見直しを契機として、関根伸夫の資料、多摩美術大学アートアーカイヴセンターと共同で進めている「もの派アーカイヴ」関連の展示、そして、この時代から現在に至るまでの美術状況を広い視野において再考するための写真や映像によるアクチュアルな展示、以上の3つの柱を中心に構成します。それぞれに異なる動機から発生したこの3つの柱から派生する展示が、時に重なりながら親和性を帯び、時にズレながら挑発しあうような、刺激的な時空間を出現させることによって、「ポスト工業化社会の美術」という見取り図を提起します。

観覧料・1100円(880円)、大高生880円(710円)

※()内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。

《関連イベント》

○講演会「《位相-大地》という出来事」

とき・9/14(土)14:30~16:00(開場14:00)

ところ・2階講堂

講師・小清水漸(彫刻家)

聞き手・建島哲(当館館長)、梅津元(当館学芸員)

定員・100名(当日先着順) / 費用・無料

MOMAS ステーション

とき・7/20(土)~8/25(日)

内容・1階ロビーに夏休み限定の子供向け受付「MOMAS ステーション」を設けます。初めて美術館に来る子供たちや、美術に関する宿題がある子供たちに、ワークシートや参考になる資料を提供し、研修を受けたボランティアスタッフが子供たちの相談に応じます。美術館を楽しむためにお気軽にご利用ください。

アート体感ワークショップ MOMAS のとびら

とき・土曜日 13:30~15:00

対象・幼児から大人まで(ただし、プログラムによって異なります。)

費用・『親子クルーズ(企画展物語)』は500円。

その他無料。

申込方法・館内で配布する申込用紙(ホームページからもダウンロード可)によりFAXでお申し込みいただくか、ホームページから直接お申し込みください。



9月分のお申込みを8/1(木)から受け付けます。

9/7(土)フリープログラム[どなたでも]※申込不要

9/14(土)親子クルーズ(MOMASコレクション)

[小・中学生+保護者]

9/21(土)彫刻あらいぐま[小・中学生+保護者]

9/28(土)みる+つくる(MOMASコレクション)

[小・中学生]

10月分のお申込みを9/1(日)から受け付けます。

10/5(土)わくわく鑑賞ツアー[どなたでも]※申込不要

10/12(土)親子クルーズ(企画展物語)[小・中学生+保護者]

10/19(土)み〜っけ! [未就学児+保護者]

10/26(土)アート★ピンゴ[どなたでも]※申込不要

MOMAS コレクション(収藏品展)

2019年度 第2期

とき・7/27(土)~10/20(日)

ところ・1階展示室

観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)

※()内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。

※会期中の毎日14時から、美術館サポーター(ガイド・ボランティア)が展示作品について解説します。参加にはMOMASコレクション観覧料が必要です。

◇セレクション: モネとかピカソとか

クロード・モネなど西洋近代絵画を中心にコレクションを紹介します。

◇うつしと重なりー版画の諸相

版画表現の多彩さを、様々な作家の作品を通して紹介します。

◇小特集: パウハウス100年

ドイツ、ヴァイマルに設立された総合芸術学校、パウハウスの創立100年を記念し、関連作家の作品などを通してその活動を紹介いたします。

《関連イベント》

○サンデー・トーク

内容・学芸員が展示作品から1点を選んで解説します。

費用・MOMASコレクション観覧料が必要です。

とき・8/11(日)15:00~15:30

担当学芸員・平野到

作品・「パウハウス叢書」(編集:ヴァルター・グロピウス、ラスロ・モホリ=ナジ)

とき・9/22(日)15:00~15:30

担当学芸員・五味良子

作品・山本容子《After-我々はどこから来たか?〈光の大地〉》1996年

一般展示室(地階)

※日程・内容は変更される場合があります。最新の情報は各主催者へお問い合わせください。

※展示により開室時間(特に最終日の終了時刻)が異なります。

◆7/30(火)~8/4(日)

第57回公募新構造埼玉展(水彩、油彩、ドローイング、版画、彫刻ほか)

一般展示室1

第29回旺玄会埼玉支部展(日本画、水彩、油彩、版画、ミクストメディア)

一般展示室3・4

◆8/6(火)~8/11(日)

15周年記念水彩連盟埼玉西支部展(水彩)

一般展示室1

新井田宇謙木彫展「幻想のさわり心地、感受性の肉」(彫刻)

一般展示室4

◆8/13(火)~8/18(日)

第53回埼玉平和美術展(日本画、水彩、油彩、ドローイング、版画ほか)

一般展示室1~4

◆8/20(火)~8/25(日)

4人はバラバラでもいっしょ展(水彩、油彩、版画、切り絵、アクリル画)

一般展示室2

ほうりきみわ写真展2019(写真)

一般展示室4

◆8/21(水)~8/25(日)

第33回墨芳展(書)

一般展示室1・3

◆8/27(火)~9/1(日)

ムサ美埼玉2019(日本画、水彩、油彩、ドローイング、版画、彫刻ほか)

一般展示室1

現代中国芸術国際交流展(油彩、版画、水墨画)

一般展示室2

第19回写真サークル「鏡悠」作品展(写真)

一般展示室3

◆8/27(火)~9/8(日)

ヨシズミ トシオ展(油彩、ドローイング、版画、水墨画)

一般展示室4

◆9/3(火)~9/8(日)

第33回(公募)埼玉創作展(日本画、水彩、油彩、版画、アクリル画)

一般展示室1

第28回工芸新樹会公募展(工芸)

一般展示室2

第7回私の自然展(写真)

一般展示室3

◆9/12(木)~9/15(日)

第63回埼玉書道展(書)

一般展示室1~4

◆9/17(火)~9/22(日)

第36回埼玉県写真サロン写真展(写真)

一般展示室1

第11回フォトサークル・オプト写真展(写真)

一般展示室3

◆9/24(火)~9/29(日)

第3回公募ZEN展(日本画、水彩、油彩、ドローイング、版画ほか)

一般展示室1

第33回フォトグループWAVE写真展(写真)

一般展示室3

21th BANSEI EXHIBITION(インスタレーション)

一般展示室4

どうぞよろしく!

この春から、学芸部に新しいメンバー、佐原(さはら)しおりさんが加わりました。これまでの経歴などインタビューしました。

小さい頃から美術館へ行くことが好きで、また、美大出身の家族の影響もあり、美術史を学ぶようになりました。専門は、日本近現代美術です。日本人が西洋美術や近代的な制度との関係のなかで、どういった作品を生み出してきたかについて関心があり、卒業論文では1930年代の日本のシュルレアリスム受容について取り上げました。その後、現代美術にも興味をもつようになり、大学院では、榎倉康二の作品変遷について研究しました。



学生時代、東京国立近代美術館やギャラリーのインターンなどを経験したことで学芸員を志し、大学院修了後、群馬県立館林美術館で3年間働きました。企画展に関する全般的な補佐業務、コレクション展の企画や収藏品管理、そのほか広報などの業務に携わり、3年目には「時代に生き、時代を超える 板橋区立美術館コレクションの日本近代洋画 1920s-1950s」展を担当しました。

埼玉近美は元々顔見知りの学芸員が多く、優しく穏やかな人が多いイメージでしたし、実際入ってみてイメージ通りの館だな、と思っています。これまでに見た展覧会では、「NEW VISION SAITAMA5 迫りだす身体」が特に印象深いです。また、1995年開催の「1970年一物質と知覚 もの派と根源を問う作家たち」のカタログをこれまで何度も読み返していたので、いま、当時担当した学芸員に展覧会の裏話などを聞いて嬉しく思っています。

休日は、展示を見に各地を訪れることが多いですが、映画やドラマを見て過ごすのも好きです。今年は、早めに夏休みをとってヴェネチア・ビエンナーレを見てきました。

まだわからないことも多いですが、いずれ埼玉近美のこれまでの蓄積をいかしながら、新しい視点を提示するような展覧会を企画していきたいです。

佐原さんは現在、常設展・収藏品チームで活躍中です。早速、今年度のMOMASコレクションなどで展示を担当しますので、みなさまお楽しみに!(聞き手 M.K.)

ミュージアム・ショップおすすめ商品

今回は、子供から大人まで楽しめる硬質紙製3D工作キットのご紹介です。細かくレーザーカットされたパーツを型紙から外して、順序通りに差し込むだけで、さまざまな昆虫や動物、リアルな骨格の恐竜が出来上がります。組み立てる楽しさと、飾って眺める楽しさを味わうことができ、おすすめです!(S.H.)



3Dペーパーモデル 700円~1,000円(税込)
組立説明図付き
対象年齢8才以上

編集後記

5月の関根伸夫さんの訃報は、とても悲しいお知らせでした。昨年、長澤英俊さんもイタリアで逝去されましたが、国際的に影響力のある、埼玉ゆかりの重要作家が相次いで亡くなったこととなります。更なる制作活動を期待していたので、悔やまれてなりません。(I.H.)

交通・JR京浜東北線北浦和駅西口より徒歩3分(北浦和公園内)。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅まで、それぞれ約35分。

※当館に来館者専用の駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では

駐車料金の割引があります(企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き)。

団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたしますが、

台数に限りがありますので予めご了承ください。



所在地・〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
TEL・048-824-0111 FAX・048-824-0119 URL・http://www.pref.spec.ed.jp/momas/
代表メール・p240111@pref.saitama.lg.jp
開館時間・10:00~17:30(展示室への入場は17:00まで)
休館日・月曜日(8/12、9/16、9/23は開館) 入館料・無料 観覧料・上記をご覧ください。

発行・埼玉県立近代美術館 編集・平野到・谷田昇平 原稿執筆・(G.U.)梅津元/(R.G.)五味良子/(I.H.)平野到/(M.K.)菊地真央/(S.H.)浜田幸代